

受理日	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	
2005/9/26	50109	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 20 July 2005	英国はvCJDリスク低減予防措置を強化した。後にvCJD発症の3名に供血した約100名はvCJD伝播の可能性があるため、血液、臓器提供を行わず、手術時等には医師等に通知することが要求された。	20
2005/9/22	50106	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB WEEKLY REPORT, 11(25)3, 2005	カナダHema-Quebecは数年前にvCJDが地域の血液供給を介して伝播することのないように実施されていた規制を緩和した。緩和は2005年7月6日より発行。新たな基準は「1980年1月1日以降累計で英国に1ヶ月以上またはフランスに3ヶ月以上滞在した全てのドナーを除外し、1980年以降英国において輸血を受けた人および西欧諸国に累計で6ヶ月以上滞在した全ての血液ドナーも不適格とする」を「1980年1月1日～1996年12月31日に累計で英国に1ヶ月以上またはフランスに3ヶ月以上滞在した人が不適格とする」に変更予定。加えて1997年以降の英国およびフランスへの訪問は西欧での滞在期間の累計に含まなくなる予定。ただし1980年以降に特定の西欧諸国で血液、赤血球、血小板、血漿を輸血された人は依然不適格である。	21
2005/10/26	50137	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 8月19日	カナダ血液サービスの2005年8月15日付けプレリリース。vCJDに関する無期限の供血者延期措置の変更等。	
2005/10/24	50133	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Canadian Blood Service	vCJDに対する献血除外基準の緩和、HCV, HIVに対する短期的な供血停止期間変更等。	
2005/9/26	50109	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Hema-Quebec Center Press July 2005	カナダケベック州はvCJDの規制を緩和した。1980年以降英国1ヶ月以上又は仏国3ヶ月以上の滞在者、1980年以降英国で受血した人及び東欧に累計6ヶ月以上の滞在者を不適格としていたが今後は1980～96年に累計で英国1ヶ月以上又は仏国3ヶ月以上の滞在者を不適格とした。	
2005/9/22	50104	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter 2005 Jul 8; 26	カナダのヘマ・ケベックはvCJDに関するドナー選択基準を修正した。新しい基準では英国もしくはフランスを訪れたのが1997年1月1日以降の場合、滞在期間にかかわらず供血が可能となる。加えて、英国とフランスの滞在歴は西ヨーロッパ滞在歴に加算されない。	
2005/9/22	50104	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005 ;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。	
2005/9/22	50104	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Viorology 2005;79(13):8665-8	ウシプリオン蛋白を発現するトランスジェニックマウスでの遺伝子導入モデルにおいて、脳内でBSE感染させた当該マウスによって評価したBSEプリオンの垂直感染事例。BSEのプリオンがマウスの中枢から末梢組織に広がり、母子感染することが明らかになった。	22
2005/11/25	50170	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	The Veterinary Record 2005;157:206	フランスのヤギのBSE確認報告。また、BSE感染ウシ脳を経口投与したヒツジと非投与のヒツジを同時に飼育する実験的なヒツジの群れの間でのBSE汚染飼料によるBSE伝播及びヒツジの子宮又は分娩によるBSEの伝播が確認された。	23